

ちーむ まきの
Team Makino

～よみがえれ！土佐の伝統作物!!～



有名シェフやバイヤーを招き、お食事会を開催(東京)



伝統野菜マルシェでは農家が自ら販売

経緯

- 故・牧野富太郎博士の指示により収集・保存されていた高知の伝統野菜の種子で、伝統野菜の復活に向けた活動を開始。
- 趣旨に共感する農家等により「Team Makino」を結成し、種子の増殖と生産拡大、販路開拓により、伝統野菜のブランド化と所得向上を目指す。

取組内容

- 料理教室や食品事業者への食材提供、テレビ、新聞等のマスコミを通じた情報発信により認知度アップを図る。
- 高知市内小学校、農業高校への出前授業や栽培指導による食育活動。
- 伝統作物セミナーにおける講習、商談会への参画、伝統野菜マルシェの開催等による販路開拓。

活動の効果

- 失われたと考えられていた種子が再発見された。
- 採集地とされる産地への「里帰り」などの活動で、後世へ引き継ぐ取り組みが広がる。
- サポーターズと連携したPR活動により「牧野野菜」の知名度が向上し、ストーリー性や味が評価され高値で取引されたことで、農家の所得向上に貢献している。
- 県内外の産地とつながりができ、交流や連携が行えるようになった。

応募団体からのアピール・メッセージ

Team Makinoの活動は、農業の枠を越え、料理人やマスコミと連携するなど益々広がっています。高知の伝統野菜が全国で認知されるよう、更なる取組を行っていきます。